

平成29年度予算特別委員会(総括質疑)主な質問・答弁

【教育委員会関係】

質問項目	質問の要旨	答弁の要旨	質問委員	担当課
小学校統合と学校施設の耐震化について	・東志和小、西志和小の校舎は仮設校舎ではなく、それぞれ存続させて、改修又は建替えにより耐震化を図るべきではないか。	・学校施設の耐震性の確保は、統合とは切り離して取り組んでいく。仮設校舎は、子どもたちの安全を第一優先に考え、早期に耐震性を確保するために設置する。	谷委員	学校教育部
	・東志和小学区住民自治協議会は学校の存続を望んでいるが、そうした思いを汲むべきではないか。	・地域で様々な意見がある。西志和住民自治協議会は、志和地域3校での統合を要望している。統合については、賛否両論ある中、地域の意見を聞きながら、早い段階で結論を出していきたい。		
	・デメリットがある中で、なぜ志和で小中一貫教育の導入を進めるのか。	・確かにデメリットもあるが、それ以上に大きなメリットもある。志和には、施設整備と併せて、小中一貫教育を導入しやすい教育環境にある。		
教師の指導力向上について	・教師の指導力向上について具体的にどのようなことに取り組んでいくのか。	・学校教育レベルアッププランを定め、校内研修や公開研修を実施するなどして、教師力の底上げを行っている。教師の多忙感が言われているが、校務支援や業務改善を含め、子どもたちに向き合う時間の確保に努めていきたい。	重光委員	
	・教師力を指標として表すのは難しいと思う。研修を行うに当たり、どこに力を入れていこうとしているのか。	・児童の中の問題を早期に発見しどの様に対応していくかといった児童理解力、早めの生徒指導。また、保護者の苦情等に誠実に対応するといったところを重視している。		
	・学校間での教師力の差も懸念される。均衡を図る施策はあるか。	・研修への参加校を指定したり、総ての教員を対象に、教科別の部会ごとに年間4、5回の研修を実施している。		
就学援助金の前倒し支給について	・生活が困窮している対象者に対しては、新入学用品の購入に係る援助金を前倒して支給することはできないのか。	・現在、手続き等の具体について協議しており、実施する方向で検討している。	谷委員	
日本遺産申請に係るシンポジウムについて	・シンポジウムはくららで1回だけ行うのか。それとも地域等で複数回行うのか。	・くららで全市的な規模のものを行う。また、規模は小さくなるかもしれないが、地域でもワークショップなどを行いたいと考えている。	奥谷委員	生涯学習部
文化財に対する市民の意識醸成について	・文化財に対する市民の意識の醸成に向けて、日本遺産の認定以外に取り組む予定があるか。	・来年度も観光協会等様々な団体と連携を取りながら観光プロモーションを継続的に実施する。また、観光のIT戦略として、酒都ナビの機能充実を図っていく。		産業部
酒のまちのPRについて	・くららや酒蔵周辺でも、酒のまちだとPRするべき。特にくららで何か1つくらい日本酒に関わるものがあった方が良いのではないか。	・くららが持っている雰囲気や吟醸酒のふるさととしてのシンボリックなものをどうするかということを含めて検討していく。		生涯学習部
図書館の指定管理について	・図書館は国の交付税制度の中で、トップランナー方式の見直しの対象となっているが、国と本市とのギャップについてどう考えるか。	・国の手当については今後注視していくが、指定管理の導入後は、開館時間の延長等十分なメリットを出していると認識している。	谷議員	生涯学習部
	・働く人の体制が問題である。また、他の多くの自治体は指定管理にしているが、本市はメリットがあるから大丈夫というのは問題ではないか。	・職員に対する指導のあり方で、市民に不快な思いを与えたということについては、定期的に指定管理者と話をすることで十分に調整をしていく。現在は現在は順調に図書館の運営ができていると考えており、今年1年間の指定管理の運営状況はしっかりモニタリングをして次へ活用する。		総務部
	・指定管理者制度を透明性を含めてどう運用していくか。雇用されている方の満足度も調査するべきではないか。	・現在の指定管理制度は利用者へのサービス向上を目的としている。雇用されている方の満足度は指定管理者の組織の中においてなされることであり、市として確認をすることはあるかもしれないが直接は関係ない。		生涯学習部